

## ソフトウェア情報学研究科アドミッション・ポリシー

### <博士前期課程>

#### 【求める学生像】

ソフトウェア情報学研究科博士前期課程では、本研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、情報技術に関心や興味、情熱を持っており、かつ、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めています。

1. 情報技術が人間や社会に及ぼす様々な影響・効果を理解できる人
2. 知的探求心と想像力を持ち、情報技術に関する知識・スキルを学び、それらを活用できる人
3. 自らの能力・適性を把握し、自主的・計画的に学習・研究に取り組むことができる人
4. 自らの見解をわかりやすく伝達し、他者の意見を踏まえて議論できる人

#### 【志願区分ごとの選抜の基本方針】

一般では、筆記試験、面接及び出願書類を総合して判定します。

推薦では、面接及び出願書類等を総合して判定します。

特別推薦では、出願書類のみで判定します。

社会人及び外国人留学生では、面接及び出願書類などを総合して判定します。面接は、口頭試問を含みます。

### <後期課程>

#### 【求める学生像】

ソフトウェア情報学研究科博士後期課程では、本研究科博士後期課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、情報技術に強い関心や興味、情熱を有しており、かつ、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めています。

1. 情報技術が人間や社会に及ぼす様々な影響・効果を理解でき、技術者または研究者としての責任を理解することができる人
2. 知的探求心と想像力を持ち、国際的な視野に立ち、情報技術に関する幅広い知識・スキルを修得・活用できる人
3. 自身の能力・適性を把握し、ビジョンをもって自律的に学習・研究に取り組むことができる人
4. 自身の見解を明確に表現できるとともに、他者の意見を受け入れ、論理的に議論できる人

#### 【志願区分ごとの選抜の基本方針】

一般・社会人・外国人留学生のすべてにおいて、面接及び出願書類などを総合して判定します。面接は、研究成果の発表を含みます。